Osaka University Knowledge Archive

Title	キリシタン版『羅葡日対訳辞書』諸本の書き入れについて
Author(s)	岸本, 恵実
Citation	日本語・日本文化. 2002, 28, p. 123-135
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/10900
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

＜研究報告＞

キリシタン版『羅葡日対訳辞書』諸本の書き入れについて

岸本　恵実

1. はじめに

キリシタン版『羅葡日対訳辞書』(*Dictionarium Latino Lusitanicum ac Iaponicum*, 1595年天草刊、以下「羅葡日」と呼ぶ）には、これまでに以下の七本の存在が報告されている。

① オックスフォード大学ボドレイアン図書館蔵本
② フランス学士院図書館蔵本
③ ライデン大学図書館蔵本
④ ロンドン大学東洋アフリカ学研究院図書館蔵本
⑤ 北堂文庫蔵本（a）
⑥ 北堂文庫蔵本（b）
⑦ （旧）レニングラード国立大学図書館蔵本

しかしこのうち、⑤⑥⑦は現在所在不明である。また版本を写した

(8) アジュダ図書館蔵本

も存在する。

現在所在が確認されている①②③④四本は全て、標題紙や見返しにある書き入れのほかに、印刷された辞書本文に対する書き入れが見られる。本稿は、現在所在が確認されている四本を中心に、辞書本文への書き入れについて調査報告を行うものである。

2. 四本の紹介　付　北堂文庫蔵本（a）・アジュダ図書館蔵本・『羅日辞書』

今回調査の対象とした四本について、ここでは簡単に紹介するのみにとどめる。書誌の詳細については、福島邦道・三橋健解題『羅葡日対訳辞書』（勉誠社 1979）を見られたい。筆者自身も他日別稿にて、若干の補足を行いたいと考えている。

① オックスフォード大学ボドレイアン図書館（Bodleian Library）蔵本（以下「ボドレイ本」）書架番号 Arch. Be. 41.

② フランス学士院図書館（Bibliothèque de l'Institut de France）蔵本（以下「学士院本」）書架番号 4°-O. 18. L.*

③ ライデン大学図書館（Universiteitsbibliotheek Leiden）蔵本（以下「ライデン本」）書架番号 860 C 25

④ ロンドン大学東洋アフリカ学研究院図書館（School of Oriental and African Studies (SOAS) Library, University of London）蔵本（以下「SOAS 本」）書架番号 EB 59. 16/11382

この四本は全て完本であるが、ライデン本・SOAS 本には虫損が見られ、特にライデン本は本文の解読が困難な箇所がある。

以下の三つは参考資料である。

⑤ 北堂文庫蔵本（a）（以下「北堂本」）
影印（東洋文庫 1951）による。1936 年に北堂文庫で発見された二本のうちの一本である。

(8) アジュダ図書館（Biblioteca da Ajuda）蔵本（以下「アジュダ写本」）書架番号 46-XIII-11, 46-XIII-12
1738 年から 1742 年にかけて、ジョアン・アルバレスがマカオで書写したものという。もとになった版本については明らかではない。

* 『羅日辞書』（*Lexicon Latino-Iaponicum*, 1870 年ローマ刊）
ベルナルド・プチジャン（1829-1884）が、マニラで発見した羅葡日辞書の一本をもとに、ポルトガル語の部分を省き改変を加えて編集・出版したもの。原本となった羅葡日辞書は、1874 年横浜教会の火災で焼失したのか、現存しないという[1]。

3. 書き入れについて

書き入れの全容は、付表「『羅葡日対訳辞書』諸本書き入れ一覧」を〈凡例〉及び〈諸本間の差異〉と合わせ参照されたい。なお、これらの書き入れ箇所について、版本間に植字の明らかな違いは見られなかった。また、今回の調査において、書き入れかどうか判然としないものは除外したこと、見落とした書き入れがある可能性のあることを付言しておく。

3.1. 書き入れの分類

書き入れは各本とも全体にわたって見られるが、その内容はさまざまである。ここではそれをいくつかの方法で分類したい。

3.1.1. 正誤表にある訂正かどうか

906頁から始まる正誤表（ERRATA）に見られるものと同じ訂正は、〈1〉～〈48〉のうち〈8〉〈10〉〈41〉の3種類のみであり、そのほかの訂正箇所は全て正誤表によらないものである。

3.1.2. 他の本にも見られる書き入れかどうか

〈1〉～〈48〉の書き入れのうち、他の本には見られない単独のものはライデン本の〈13〉〈23〉、SOAS本の〈39〉〈40〉〈48〉、北堂本の〈41〉〈42〉であり、そのほかは書き方は多少異なっても、意図するところはほぼ共通していると思われる書き入れである。このような複数の本に見られる書き入れは、正誤表にもある訂正を除いても39種類ある。特に北堂本以外の、今回現本を調査した四本にはよく似た書き入れが多い。また、後世のアジュダ写本・羅日辞書でも、書き入れがなされた版本の状態と同様の形になっている箇所が多いことから、この二つの原本となった版本にも、同様の書き入れがあったとみるべきであろう。ただし、アジュダ写本と羅日辞書を比較した場合、どちらかといえばアジュダ写本よりも羅日辞書の方が、書き入れのなされた版本と同様の形になっている箇所（表中下線を付したもの）が多く、それぞれの原本の書き入れにも違いがあったことが推測される。

このように、正誤表にない、複数の本に共通して見られる書き入れがいくつもあることから、印刷されたあと本が各地に分散しないうちに、ある程度組織的に書き入れがなされた可能性が高いと考えられる。

3.1.3. 対象となっているのはどの言語であるか

48 種類の書き入れは、ラテン語・ポルトガル語・日本語それぞれに対して見られた。しかしその内訳は、ラテン語 12、ポルトガル語 6 に比べ、日本語は 30 とかなり多くなっている。なかでも興味深い書き入れについては、次項で取り上げることにしたい。

3.2. 日本語に対する書き入れについて

日本語の部分に対する書き入れは、例えば Niataru に i を補って Niaitaru（似合ひたる）に改める（〈6〉）など、正誤表で訂正されていない誤植・脱字等、原文の不備を補おうとするものが多い。その中には、Iano を Iaga（蛇が）でなく Iang とする（〈17〉ボドレイ本）、qitaru biqi coto の biqi を beqi（べき）でなく biqe とする（〈24〉SOAS 本）など、正確に訂正できていないものもいくつか見られるが、ここでは上のような明らかな誤植・脱字に対する訂正を除いた中から、注目される書き入れを取り上げる。

まず、当時混乱していたといわれるオ列長音の開合に関するものが、〈20〉〈22〉〈25〉〈26〉〈35〉〈43〉の 6 例ある。このうち、もともと符号のないところに符号を付したものは、〈20〉〈22〉〈35〉〈43〉である。

〈20〉　245 頁左 41 行目 Qenyo を Qenyô とする。（規範的な仮名遣では「懸壅（けんよう）」）
この語は羅葡日に他に 7 例あり、全て Qenyô となっている[2)]。

〈22〉　297 頁右 12 行目 buriacu を bôriacu とする。（「謀略（ぼうりゃく）」）
「謀略人」を含めて他に 38 例見られ、内訳は bôriacu 34 例、bôreacu 1 例、bŏriacu 3 例である。

〈35〉　567 頁右 22 行目 Xofoni を Xofŏni とする。（「諸方（しょほう）に」）
「諸方」は他に 16 例見られ、xofŏ 14 例、xofo 2 例である。

〈43〉　776 頁左 24 行目 Auaxego を Auaxegŏ とする。（「合せ香（あはせがう）」）

他2例もAuaxegŏとなっている。

これらは全て、規範に合う符号を書き入れている。また〈25〉〈26〉は、「謀」の音の表記を開音から合音に改めたもので、やはり規範に従った訂正である。

〈25〉　345頁右41行目bŏxoをbôxoと改める。（「謀書（ぼうしょ）」）

羅葡日に他に1例あり、それもbôxoとなっている。

〈26〉　345頁右42行目bŏfanをbôfanと改める。（「謀判（ぼうはん）」）

羅葡日にある他の1例もbôfanとなっている。

開合以外に興味深いものとしては、以下のような書き入れがある。

〈11〉　160頁右42行目Tçuyasuのuとyの間、上部にiを書く。

『日葡辞書』（1603・1604年長崎刊）では以下のように、二語が同義語として並べられている。

Tçuiyaxi, su, ita. l, Tçuyaxi, su. Gastar mal, ou esperdiçar. Vt, Tacarauo tçuiyasu.

「つやす」は「つひやす」の転じたものであり、「つひやす」が古く上代から見られるのに対し、「つやす」の方は、上の『日葡辞書』が古い例となる比較的新しい語であることから、古い「つひやす」を規範的な語形としてiを書き入れたのかもしれない。しかし、羅葡日の中にtçuyasuという語は他に5例見られるので（tçuiyasuは39例）、書き入れの根拠は明らかではない。

〈18〉　208頁左14行目Diaphonia. ... Iap. Ychimi, l, dôxin xezaru coto.の後にuo yŭを書く。

羅葡日の序文（Ad Lectorem）の末に辞書の凡例があり、日本語にないある種の名詞は、cotouo yŭ.（ことをいふ）を用いた不定法によって表すことが記されている。例としてTemperantia〈節制〉が挙がっている。

Temperantia, chŭyŏuo mamoru cotouo yŭ.

本文には、例えば以下のような例がある。

Natatus, us.〈水泳〉Lus. O nadar. Iap. Voyogu coto uo yŭ.

Prosa, ae.〈散文〉Lus. Prosa. Iap. Bun. Vt, Bunxo, xomotno tçuzzuqi, monogatarini goncuuo tçuranuru cotouo yŭ.

この〈18〉も、日本語の名詞で表しにくいDiaphonia〈不一致、不調和〉という名

詞を表すのに、凡例に従って「をいふ」の部分を補ったものであろう。

〈28〉　355 頁右 33 行目 Iigon, igo, qiŏquô. の u を消す。

「自今」「以後」に続く三つめの語は「向後（きやうこう）」であると思われる。カ行の合音は規範的には cô が正しく、quô はカ行の合拗音、qô は規範にない綴りであるが、学士院本・ライデン本と羅日辞書以外は正確に訂正されていない。なお羅葡日の「向後」の用例は、他に qiŏcô 7 例、qeŏcô 3 例となっている。

以上のように日本語部分への書き入れは、ほとんどが原文のローマ字綴りを規範に従って訂正しているものである。但し、正誤表によっても書き入れによっても訂正されていない誤植や脱字も数多く存在する。

4. まとめ

羅葡日対訳辞書のうち所在が確認されている四本、ボドレイ本・学士院本・ライデン本・SOAS 本には、全体にわたって本文に書き入れが見られる。特に日本語の部分を規範的な形に訂正しているものが多く、なかでも開合符号に関するものが多い。

四本に北堂本、アジュダ写本、羅日辞書を加えて調査を行ったところ、巻末の正誤表によるとみられる訂正とは別に、複数の本に類似の書き入れが多いことが明らかになった。このことから、印刷後本が各地に分散しないうちに、組織的に書き入れ作業が行われた可能性が高いと考えられる。

版本間の刷りの違い、版本と写本の違いについては、今後の課題としたい。

注

1) 『カトリック大辞典』I（冨山房 1940）「日本イエズス会刊行書誌」の項（Johannes Laures 執筆）p. 760 による。

2) 北堂文庫本（a）（東洋文庫影印）・羅日辞書の本文に基づいた『ラポ日辞典の日本語』索引篇（ラポ日辞典索引刊行会 1967-1973）による。以下の語の用例数も同書による。

参考文献

岩井大慧解説（1951）*Dictionarivm Latino Lvsitanicvm, ac Iaponicvm* ... 東洋文庫（北堂文庫本影印）

金沢大学法文学部国文学研究室編（1967-1973）『ラポ日辞典の日本語』ラポ日辞典索引刊行会

亀井孝解題（1973）『日葡辞書』勉誠社

福島邦道・三橋健解題（1979）『羅葡日対訳辞書』勉誠社

本報告は平成13年度科学研究費補助金特定領域研究（A）「東アジア出版文化の研究」の成果の一部である。調査にご協力いただいた各図書館の方々、ご助言・ご助力を賜った先生方に、厚く御礼申し上げる。

〈キーワード〉羅葡日対訳辞書，キリシタン版，書き入れ

〈凡例〉

この表は、『羅葡日対訳辞書』四本の本文への書き入れの一覧である。参考として、北堂本の書き入れ、アジュダ写本・羅日辞書の該当箇所の本文も挙げた。

Ⅰ 表の項目について

(i) 「番号」は、本報告における便宜上の通し番号である。

(ii) 「頁」「位置」は、辞書本文のどのページか、左右の段に分かれた左側か右側か、何行目にある書き入れかを示す。例えば「頁」32「位置」左33は、32頁左側の上から33行目にある書き入れであることを示す。

(iii) 「対象語」は、書き入れの対象となっている言語がラテン語（ラ）・ポルトガル語（ポ）・日本語（日）のいずれであるかを示す。

(iv) 「原文」は、四本のうち善本と思われるボドレイ本の、書き入れ対象箇所の原文である。原則として印刷された本文（書き入れ前の形）を引用したが、判読できない場合は書き入れ後のものを用いた。

Ⅱ 書き入れについて

(i) この表で挙げたのは、本文（1～906頁と正誤表）の文字に対する書き入れであり、見返し等の書き入れ、ページ数の書き入れなどは含めない。SOAS本の本文の頁にある以下の書き入れも除いた。

2頁左41行目	Ábaphus. 左欄外に縦三つの星印を書く。
140-151頁	欄外に1（140頁），2（141），3（143），4（145），5（147），6（149），7（151）の通し番号を書く。
141頁	左上欄外に＋の印を書く。
143頁	左上欄外に○の印を書く。
867頁左46行目～868頁17行目及び 905頁左2行目～右5行目	日本語の部分（Iap. 以下）を線で消す。

(ii) 「書き入れ」欄の内容はボドレイ本のものを基本とした。

(iii) 五本の書き入れを「書き入れ」欄の内容と比較したとき、「○」は全く同じもの、「○?」は同様に見えるもの、「○＊」は小異があるもの、「？」は書き入れがあるかどうか不鮮明でわからないもの、「－」は書き入れがなく原文のままのものである。「○＊」については〈諸本間の差異〉を見られたい。

(iv) 四本の書き入れについて、注記がないもの以外筆記具は全て黒ペンである。

Ⅲ アジュダ写本・羅日辞書について

版本の印刷された原文通りでなく、書き入れがなされた状態とほぼ同様の形になっているものには下線を付した。

『羅葡日対訳辞書』諸本書き入れ一覧

番号	頁	位置	見出し語	対象語	原文（推定できない場合書き入れ後の状態）	書き入れ	ボドレイ	学士院	ライデン	SOAS	北堂	アジュダ	羅日	番号
〈1〉	32	左 33	Agîna, ae.	日	Tenbinno sauoto, l. farino cusarime.	sauoto の to を線で消し、l	○	○*	○*	○*	○	（空白）	sauo, vel	〈1〉
〈2〉	67	右 10	Ascisco, is, iui, itum,	日	Yobi yosuru.	Yobi の b	○	○	○	○	○?	Yooi yosuru.	Yobi yosuru.	〈2〉
〈3〉	76	左 16	Augmentum.	ラ	Augmentum, l. Augmen.	Augmen の g の下部分と en	○	○	○	○	○	Augmen	（省略）	〈3〉
〈4〉	95	左 36	Caliculus, i.	日	Cosa-/cazzuqi.	Cosa-/cazzuqi の二文字目の z	○	○	○	○	?	Co-/sacazzuqi	Cosazzuqi.	〈4〉
〈5〉	117	右 28	Cippus, i.	ポ	Columna alueuantada com-/letreiro & memoria dalgũa cousa.	memoria の前、& を抹消し、En	○	○*	—	○*	○?	com memoria	—	〈5〉
〈6〉	136	右 31	Cómmodus, a, um.	日	Niataru coto, l, tocuto naru coto, saiuai naru coto.	Niataru の a と t の間、上部に i、下部に挿入符号	○	○	○	○	○*	Niataru	Niaitaru	〈6〉
〈7〉	139	左 13	Comperto, adu.	日	Fitgiô, funmiô.	funmiô の後に ni	○	○	○	○	○	funmioni	funmiôni	〈7〉
〈8〉	142	左 16	Concámero, as.	日	nijiga-/tao ynô naru tenjôuo tçucuru.	tao ynô の o, y, n を抹消し、no yô	○	○	○*	○	—	no yô	no yô	〈8〉
〈9〉	148	右 30	Conferua, ae.	ポ	Hũ certo musco.	musco の c を g に	○	○	○	○	—	musgo	—	〈9〉
〈10〉	153	左 46	Coniugalis, e.	ラ	Coniugalis, e.	g と a との間、上部に i、下部に挿入符号	○	○	○	○	—	Coniugalis, e.	Conjugialis, e.	〈10〉
〈11〉	160	右 42	Consumo, is, psi, ptum.	日	Tçuyasu, tçucai tçucusu.	Tçuyasu の u と y の間、上部に i	○	○*	○	—	○?	Tçuyasu	Tçuyasu	〈11〉
〈12〉	168	左 32	Coriacius, a, um.	ラ	Coriacius, a, um.	Coriacius の二番目の i を e に	○	○*	○	○	○?	Coriaceus, a, um.	Coriaceus, a, um.	〈12〉
〈13〉	179	右 26	Cura, ae.	日	Yacu, cocorogaqe.	Yacu の y 印刷薄く、鉛筆で縦線、右欄外に y	—	—	○	—	—	Yacu	yacu	〈13〉
〈14〉	181	左 27	Cuspis, dis.	ポ	Suspeito.	Suspeito の一・二文字目を抹消し、E を書き、i を抹消	○	○	○	○?	○?	Suspeito.	—	〈14〉
〈15〉	190	左 20	Deflecto, is, xi, exũ.	日	Maguru, yogamuru, l, tauomuru.	yogamuru の o を u に	○	○	○*	○	—	yuga=/muru	yugamuru	〈15〉
〈16〉	194	右 21	Delumbis, e.	日	Vonagoraxi mono.	Vonagoraxi の後に j	○	○	○*	○	—	vonagoraxij	uonagoraxij	〈16〉
〈17〉	206	右 32	Deûro, is, usi, ustum.	日	Iano curai fideracasu.	Iano の o を g に	○	○*	○*	○*	—	Iaga	jaga	〈17〉
〈18〉	208	左 14	Diaphonia.	日	Ychimi, l, dôxin xezaru coto.	xezaru coto. の後に uo yŭ	○	○*	○*	○*	—	cotouo yu.	cotouo yŭ.	〈18〉
〈19〉	230	右 1	Ebulio, is.	ラ	Ebulio, is.	Ebulio の u と l の間、上部に l、下部に挿入符号	○	○*	○*	○*	○*	Ebullio, is.	Ebullio, is.	〈19〉
〈20〉	245	左 41	Epiglossis,	日	Qenyo.	Qenyo の o の上部に合音符号	○	○	○	○	○	Qenyô	Qenyô	〈20〉
〈21〉	274	右 35	Factio, onis.	ポ	Bando, remolta, ou motin dos cidadoẽs.	remolta の m を線で消し、上部に u	○	○*	○	○*	○?	revolta	—	〈21〉
〈22〉	297	右 12	Fraus, udis.	日	Tabacari, buriacu.	buriacu の二文字目、u を o に改め、上部に合音符号	○	○	○*	○	○	bôriacu	bôriacu	〈22〉
〈23〉	301	左 1	Fuga, ae.	日	Niguru cotouo yŭ. chicuten.	chicuten. 上部にチクテン	—	—	○	—	—	—	—	〈23〉
〈24〉	305	左 33	Futurus, a. um.	日	Saxitçuzzuqu coto, miraino coto, qitaru biqi coto.	biqi の bi の i を e に	○	○	○	○*	○*	beqi coto	beqi coto	〈24〉
〈25〉	345	右 41	Ìmitor, aris.	日	Bŏxouo ca-/qi, bŏfanuo suyuru.	Bŏxouo の開音符号を合音符号に	○	○	○	○	○	Bôxouo	bôxouo	〈25〉
〈26〉	345	右 42	Ìmitor, aris.	日	Bŏxouo ca-/qi, bŏfanuo suyuru.	bŏfanuo の開音符号を合音符号に	○	○	○	—	○	bôfanuo	bôfanuo	〈26〉
〈27〉	355	左 40	In.	日	Toqi gotoni, jiji coccucuni.	coccucuni の ccu を cco に	○	○	○	○	○?	coccouni	coccocuni	〈27〉
〈28〉	355	右 33	In.	日	Iigon, igo, qiŏquô.	qiŏquô の u を線で消す	○	○*	○*	○	—	qiôqô	qiôcô	〈28〉
〈29〉	355	右 47	Inaccessus, a, um.	日	cayouazartocoro.	cayouazartocoro. の r と t の間、上部に u、下部に挿入符号	○	○	○	○	○	cayouazaru tocoro	cayouazaru tocoro	〈29〉
〈30〉	385	左 39	Integresco, is.	ラ	Integresco, is.	Integresco の二番目の e を抹消し、上部に a	○	○*	?	○	○	Integresco, is.	Integresco, is.	〈30〉
〈31〉	476	右 43	Murílegus, i.	ラ	Murílegus, i.	Murílegus の s を線で消し、上部に ly	○	○	○*	○*	—	Murilegusus.	Murilegulus, i.	〈31〉
〈32〉	543	右 29	Pando, as.	日	Maguru, tauoruru.	tauoruru. の一番目の r を線で消し、上部に m、一番目の r と u の下部に挿入符号	○	○*	○*	○*	?	tauomuru	ta-/uomuru	〈32〉
〈33〉	543	右 30	Pando, as.	日	Maguru, tauomuru.	tauomuru. の ru を線で消す	○	○	○	—	?	tauo=/mu	tauomu	〈33〉
〈34〉	557	右 41	Pellax, acis.	ポ	O que gana a alguem cõ afagos.	que と gana の間、上部に en、下部に挿入符号	○	○	○*	○*	○*	que engana	—	〈34〉
〈35〉	567	右 22	Perflo, as.	日	Xofoni fuqu.	Xofoni の二番目の o に開音符号	○	○	○	○	○	Xofõni	Xofõni	〈35〉
〈36〉	687	右 20	Remarcesco, is, cui.	ラ	Remarcelco, is, cui.	Remarcelco の rcel を cres に	○	○	○?	○*	?	Remacresco, is, cui.	Remacresco, is, cui.	〈36〉
〈37〉	689	左 8	Remôtus, a, um.	日	Vanrino sacaiuo fedatetaru tocoro, touo-/qi tocoro.	Vanrino の V を抹消し、B	○	○	○	○	—	Vanrino	banrino	〈37〉
〈38〉	701	右 34	Ricus, i.	ラ	Ricus, i.	Ricus の i と c の間、上部に s、下部に挿入符号	○	○*	○*	○	○	Riscus, i	Riscus, i	〈38〉
〈39〉	706	左 21	Rúmino, as,	ポ	Rumi-/ar.	Rumi-/ar の u を e に、i を o に、a を e に	—	—	—	○	—	Rumiar	—	〈39〉
〈40〉	706	左 21	Rúmino, as,	ラ	—	左欄外に on tor-/nar ama al-/tigar.	—	—	—	○	—	—	—	〈40〉
〈41〉	707	右 43	Sabûcus,	日	Vtçugui.	Vtçugui を線で消し、Tazzu	—	—	—	—	○	Vtçugui	Tazzu	〈41〉
〈42〉	742	左 22	Séuoco, as.	日	Sômatno zai-/fõno vchiuo nusumu.	Sômat の a を線で消し、上部に o	?	?	—	?	○	Somit	sômat	〈42〉
〈43〉	776	左 24	Stymma, atis.	日	Auaxego, l, cunyacuno taguy.	Auaxego の o に開音符号	—	○	○	○	?	Auaxego	Auaxegŏ	〈43〉
〈44〉	776	左 29	Stypticus, a, um.	日	Qexxi sasuru mono, monouo chigimuru, l, ximuru xi aru mono.	xi aru の i を e に改め、その後に j	○	○	○*	○*	?	xiiaru	xei aru	〈44〉
〈45〉	778	右 4	Subdialis, e.	日	Iyeno focani aru mono, ojucu toru mono.	ojucu の前に n	○	○	○	○	○	no-/jucu	nojucu	〈45〉
〈46〉	821	右 6	Tetrigómetra, ae.	ラ	Tetrigómetra, ae.	Tetrigómetra の二文字目の e と t の間、上部に t、下部に挿入符号、四文字目の r を l に	?	○	?	?	?	Tetrigómetra, ae.	Tettigometra, ae.	〈46〉
〈47〉	821	右 9	Tetrigoniae, arum.	ラ	Tetrigoniae, arum.	Tetrigoniae の二文字目の e と t の間、上部に t、下部に挿入符号、四文字目の r を l に	?	○	?	?	?	（脱）	Tettigoniae, arum.	〈47〉
〈48〉	863	右 22	Vergo, is, si, l, xi,sum.	ラ	—	右欄外に Vericulũ, i./teligenus.	—	—	—	○	—	—	—	〈48〉

〈諸本間の差異〉

表中に記載できなかった諸本間の書き入れの差異を通し番号順に挙げる。通し番号とともに、頁・位置・ボドレイ本の原文を示した。

〈1〉32頁左33行目 sauoto, l. farino

学士院本：sauo の後 fari の前まで抹消し、l を書く。

ライデン本：sauo,　farino のようになっている。

SOAS 本：学士院本に同じ。

〈5〉117頁右28行目 & memoria

学士院本：& を抹消し、em と書く。

SOAS 本：& を抹消し、ẽと書く。

〈6〉136頁右31行目 Niataru

北堂本：Niataru の a と t の間、上部に i を書く。

〈8〉142頁左16行目 tao ynŏ

ライデン本：tao の o の上部に n を書き、y の後の一文字を抹消する。

〈11〉160頁右42行目 Tçuyasu

学士院本：Tçuyasu の u と y の間、上部に i、下部に挿入符号を書く。

〈12〉168頁左32行目 Coriacius, a, um.

学士院本：c と i の間、上部に e、下部に挿入符号を書く。

〈15〉190頁左20行目 yogamuru

ライデン本：yogamuru の o を線で消し、上部に u を書く。

〈16〉194頁右21行目 Vonagoraxi mono

ライデン本：Vonagoraxi の後に i を書く。

〈17〉206頁右32行目 Iano curai fideracasu.

学士院本：Iano の n を g に、o を a に改める。

ライデン本：学士院本に同じ。

SOAS 本：学士院本に同じ。

〈18〉208頁左14行目 xezaru coto.

学士院本：xezaru coto. の後に uo yú. を書く。

ライデン本：学士院本に同じ。

SOAS 本：学士院本に同じ。

〈19〉230頁右1行目 Ebulio, is.

学士院本:Ebulio の i を l に改め、その i (l) と o の間、上部に j、下部に挿入符号を書く。

ライデン本：Ebulio の l と i の間、上部に l、下部に挿入符号を書く。

SOAS 本：Ebulio の i を l に改め、その i (l) と o の間に j を書く。

北堂本：Ebulio の u と l の間、下部に挿入符号を書く。

〈21〉274 頁右 35 行目 remolta

学士院本:remoltaのmを線で消し、上部にuを書き、m(?)otinのm(?)の上部にmを書く。

SOAS 本：remolta の m を抹消し、u に改める。

〈22〉297 頁右 12 行目 buriacu

ライデン本：buriacu の二文字目の u を o に改め、上部にアセント符号（´）を書く。

〈24〉305 頁左 33 行目 biqi coto

SOAS 本：biqi の qi の i を e に改める。

北堂本：biqi の bi の i の上部に e を、下部に挿入符号を書く。

〈28〉355 頁右 33 行目 qioquô

学士院本：qiŏquô の qu を線で消し、上部に c を書く。

ライデン本：学士院本に同じ。

〈30〉385 頁左 39 行目 Integresco, is.

学士院本：二番目の e を a に改める。

〈31〉476 頁右 43 行目 Muríilegus, i.

ライデン本：Murílegus の u と s の間、上部に lu を、下部に挿入符号を書く。

SOAS 本：ライデン本に同じ。

〈32〉543 頁右 29 行目 tauoruru

学士院本：tauoruru の一番目の ru を m に改め、ru(m) と ru の間、上部に u を書く。

ライデン本：tauoruru の一番目の ru を m に改め、ru(m) と ru の間、上部に u を、下部に挿入符号を書く。

SOAS 本：ライデン本に同じ。

〈34〉557 頁右 41 行目 que gana

ライデン本：que と gana の間、上部に en を書く。

SOAS 本：que と gana の間、上部にẽを、下部に挿入符号を書く。

北堂本：ライデン本に同じ。

〈36〉687 頁右 20 行目 Remarcelco, is, cui.

SOAS 本：Remarcelco の r を s に改め、c と e の間、上部に r を、下部に挿入符号を書き、l を s に改める。

〈38〉701 頁右 34 行目 Ricus, i.

学士院本：Ricus の i と c の間、上部に s を書き、下部に谷型の挿入符号を書く。

ライデン本：Ricus の i と c の間、上部に s を書く。

〈44〉776 頁左 29 行目 xi aru mono

ライデン本：xi の x と i の間、上部に e を、下部に挿入符号を書く。

SOAS 本：xi aru の xi と a の間に i を書く。

The Handwritten Notes in the Copies of *Dictionarium Latino Lusitanicum ac Iaponicum*

Emi KISHIMOTO

Today four copies are preserved from *Dictionarium Latino Lusitanicum ac Iaponicum* published in 1595 in Amakusa by the Jesuit mission; these copies are held in the custody of the Bodleian Library in Oxford, Bibliothèque de l'Institut de France in Paris, Universiteitsbibliotheek Leiden, and School of Oriental and African Studies (SOAS) Library in London. Each copy contains many handwritten notes referring to the text. Many of them are corrections of the Japanese used in the text, and especially of the two different pronunciations of the long vowel /o/ in those days (*Caigō*).

On investigating the four copies, together with a facsimile of the copy in the custody of Pei-t'ang Library in Peking, a manuscript copy in Biblioteca da Ajuda in Lisbon, and *Lexicon Latino-Iaponicum* which was edited using *Dictionarium*, there were found out many similar notes which are not listed within the errata at the end of the dictionary. This fact suggests the probability that the notes were written under the same supervision after printing the copies, but before they were distributed.